

第67回日本木材学会大会（福岡大会）の お礼と九州支部長就任のご挨拶

堤 祐司



皆様、改めまして、平成29年度から九州支部長を仰せつかりました、九州大学・農学研究院の堤祐司です。これから2年間、九州支部の発展のために努力いたしますので、よろしくお願いたします。

さて、去る平成29年3月17日～19日に、第67回日本木材学会大会（福岡大会）が九大・箱崎キャンパスとアクロス福岡で開催され、盛況のうちに終了することができました。支部会員の皆様に、大会概要をご報告いたします。まず、参加者集1,005名と、ここ数年では最も多く、久々に1,000名を突破いたしました。口頭発表者数278、ポスター発表者数362と、たくさんのご発表も頂きました。

また、今回の福岡大会では様々な新しい企画を試みました。第一は優秀学生口頭発表賞の試行です。ポスター発表賞は以前から設置されておりました。その結果、たくさんのお優秀な学生諸君がポスター賞の獲得を目指してポスターで発表するため、ポスター発表数の増加と口頭発表数の減少が起きました。しかしながら、口頭発表の経験は教育的にも重要であると考え、福岡大会独自に口頭発表賞を設置し、優秀な発表を表彰しました。この試みは、学会理事の方々の賛同を得ることができましたので、今後も続くと思っております。また、学生の就職活動の一助になればとの考えから、大会初日の昼休みを利用して、企業ランチセミナーを行いました。参加資格は学生で、参加者には企業と大会本部からお弁当が無料で配布されました。昼食の時間を利用して、参加企業が10分程で自社PRを行い、学生に興味を持ってもらう企画です。初企画であったため、周知も十分でなく、参加企業は5社と少なかったのですが、140～50人ほどの学生が集まってくれました。企業ランチセミナーの趣旨にご賛同いただきご参加いただいた企業様にはこの場を借りてお礼申し上げます。福岡大会は新企画も含め、成功裏に終わったと自画自賛しておりますが、この大会を支えて下さったのは、過去最大数（78件）の要旨集広告であり、広告集めにご尽力頂いた九州支部各県の実行委員の皆様とご協力頂いた九州圏内の各企業の皆様に、心より感謝申し上げます。

日本木材学会九州支部は、九州・沖縄地区の「木材をはじめとする林産物に関する学術および科学技

術、産業の振興を図る」ことを目的としております。この目的を達成するには、これまで以上に産官学連携を強化していく必要を感じております。九州・沖縄各県には、それぞれ固有の特長と問題点を持っております。現在、各県単位で産官学が連携しながら特長のさらなる発展、また問題の解決に鋭意取り組んでおられることと思っておりますが、この枠組みを拡大し、九州全域で協力・取り組めるような枠組み作りのお手伝いをするのが、九州支部の重要な役割だと考えております。また、木科学情報19巻3号(2012年10月発行)に書かせていただきました「博士号取得のススメ（社会人ドクター編）」のように、公設試験場や企業で研究・開発に携わっておられる支部会員の方々は、博士号学位の取得にチャレンジしていただき、人的交流や情報網の強化にも大いに役立てていただきたいと望んでおります。九州支部は木材学会にある4つの支部の中で唯一機関誌を発行している、アクティビティの高い支部です。支部会員の皆様が、今まで以上に大きな枠組みの協力関係を構築することができると思っております。

主たる支部活動である、支部大会と研鑽プログラムの開催は、支部会員の皆様の本業とは別に、いわゆるボランティア的な活動で支えられております。そのため、日々、日常業務が多忙・煩雑となる中で、支部活動に掛かるご負担を軽減するために何ができるかを考えていきたいと思っております。まず、支部大会の発表申し込み、参加登録、要旨投稿手続きを、支部HP上でのウェブ登録を可能にしたいと考えています。木材学会本大会と同様に、発表者データ、参加者データをweb上で登録、csvデータとして一括取り込めれば、支部大会主催者様のご負担はかなり軽減できるのではないかと思います。昨今、大部分の情報がウェブを介してやりとりされる時代、「機能性」に欠ける現在の支部HPを充実し、「便利」で「使い易く」、時々訪れてみたくなるようなHPに変えたいと考えています。支部会員の皆様に少しでもお役に立てればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

（つつみ ゆうじ：九州大学大学院農学研究院）